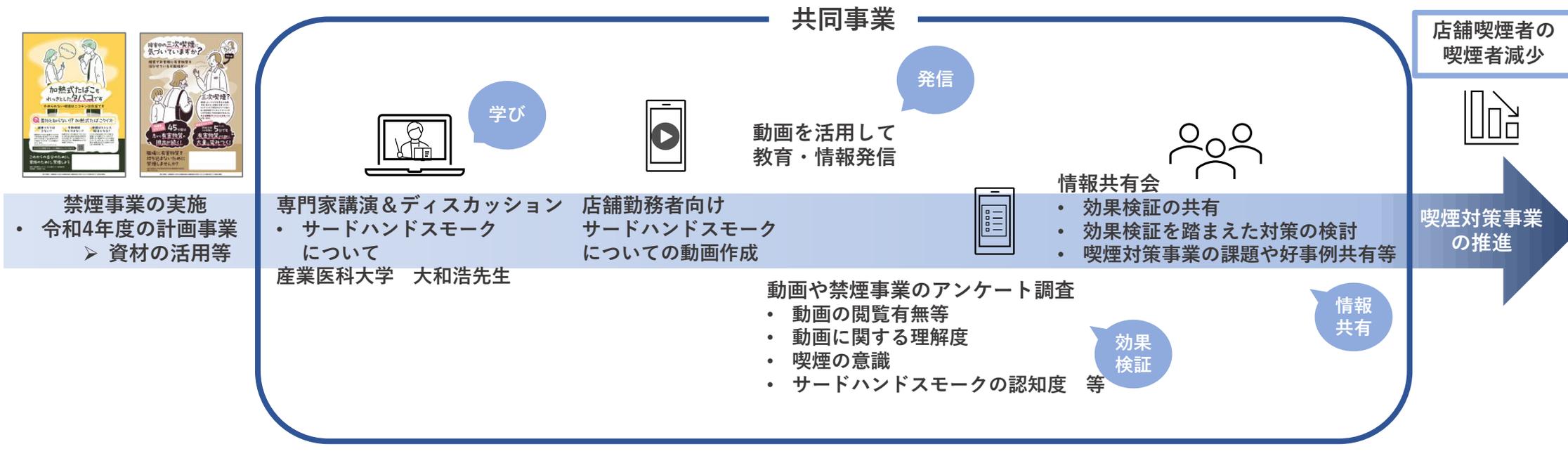


店舗勤務者の喫煙対策事業の推進

背景・目的

店舗に勤務している者の喫煙率は高いままで、対策が難しいという課題があり、令和4年度は店舗勤務者の特性を明らかにするため、店舗勤務者が多く加入している複数の健康保険組合でアンケートを実施し、アンケート結果から明らかになった課題をもとに資材（ポスター）を作成し、喫煙対策事業を実行・計画した。令和5年度は、令和4年度に計画・実行した事業の効果検証を行い、昨年度のアンケートにより特に認知度が低かった「サードハンドスモーク」に着目し、専門家から最新の知見を得て、教育や情報発信等で活用できる動画を作成する。店舗勤務における接客業務に影響する「サードハンドスモーク」に着目した動画を作成することで、喫煙・非喫煙に関わらず喫煙対策に意識の低い層の関心を引き、禁煙を促進することを目的とする。

実施概要



参加団体

◎デパート健康保険組合、カスミ健康保険組合、マルハン健康保険組合、オオゼキ健康保険組合、兵庫トヨタ自動車健康保険組合、住友不動産販売健康保険組合

※◎主幹事、1万人未満の健康保険組合数：3/6

産業医科大学 産業生態科学研究所 健康開発科学研究室教授 大和 浩先生（専門家講演、動画作成のアドバイザー・医療監修）
 株式会社JMDC（事務局運営、アンケート調査支援、調査集計・分析、報告書の作成支援等）

